ロータリー財団

参照ガイド

The Rotary Foundation

目次

ポリオプラス 1
- ポリオプラス補助金 1
- ポリオプラス・パートナー補助金 1
- ポリオプラス関連リソース 2

ロータリー平和フェローシップ 3
- ロータリー平和フェローシップ関連リソース 3

ロータリー健康な地域社会チャレンジ 5

補助金 6
- 補助金の種類 6
- 重点分野 8
- 参加資格認定と資金管理 8
- 補助金の申請と報告のプロセス 9
- 補助金関連リソース 9

ロータリー学友 11
- 学友関連リソース 11

財団の資金 12
- 年次基金（シェア） 12
- 災害救援基金 13
- 恒久基金 14
- 寄付の方法 14
- 財団資金関連リソース 17

財団での認証 19
- 個人の認証 19
- クラブの認証 23
- 認証ポイント 26
- 認証関連リソース 27

一般リソース 28
- My ROTARY 28
- お問い合わせ 31
- 地区とゾーンのためのリソース 32
- ロータリー事務局 32

金額表示はすべて米ドルです。

ロータリー財団

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらすために役立てられています。

The Rotary Foundation

ポリオプラス

ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目とし、1985年にポリオプラス・プログラムを立ち上げました。世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体との協力を開始した1988年には、125カ国で35万件以上の発症が確認されていましたが、以来、30億人以上の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少しています。

> 世界からポリオがなくなったと認定されるまでに、ロータリーによる世界ポリオ根絶活動への寄付額は31億ドルを超える見込みであり、これにはゲイツ財団からの16億ドルの上乗せ資金も含まれます。

ポリオプラス補助金

ポリオ常在国およびウイルス流入のリスクがある国を中心に、ポリオ根絶活動に充てられ、予防接種キャンペーンとポリオウイルス伝染の監視活動を支援しています。

ポリオプラス補助金は、ポリオプラス基金およびDDF（地区財団活動資金）の寄贈によって調達されます。

提案書は主に、世界保健機関（WHO）やUNICEF（国連児童基金）など主な活動実施者が提出します。管理委員会が定例会合において、ポリオプラス補助金の申請を審査します。

ポリオプラス・パートナー補助金

高優先国のポリオプラス委員長により提出された、緊急の社会動員や監視プロジェクトを支援します。補助金の申請は定期的に審査され、ポリオプラス基金から資金が提供されます。

関連リソース

- 「End Polio Now」ニュースレター：ポリオ根絶の取り組みに関する最新情報を隔月で紹介。
- ポリオ根絶のリソースセンター：アドボカシー、募金、認識向上などに役立つさまざまな資料を掲載。
- 「End Polio Now」ピン：End Polio Nowのロゴが付いた襟ピン。
- 「ポリオを根絶する5つの理由」チラシ：ポリオのない世界を目指して活動する理由を紹介。

このほかの情報や資料をendpolio.org/jaからご覧いただけます。

ロータリー平和フェローシップ

世界各地の一流大学内にあるロータリー平和センターでは、国際関係、平和研究、紛争解決といった関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決分野の専門能力開発修了証の取得を目指す世界各地の平和・開発のリーダーに、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供しています。

フェローシップは、授業料、入学費、食費と部屋代、往復交通費、インターンシップと実地研修の費用に充てられます。その資金は、地区からのDDF寄贈、個人からの冠名指定寄付、恒久基金からの収益によって支えられています。

地区は毎年、候補者の推薦のため、フェローシッププログラムの周知、および申請プロセスにおいて候補者のサポートを行います。クラブと地区も、推薦書を提出することで候補者を支援するよう奨励されています。毎年、修士号プログラムで学ぶ50名、専門能力開発修了証コースで学ぶ80名までのフェローが選ばれ、管理委員会が選出した候補者には11月に通知されます。

2002年以来、1,800人以上のフェローがプログラムを卒業し、世界各地で平和を推進しています。

ロータリー平和フェローシップ関連リソース

- ロータリー平和センターのフェイスブックページ：平和センター、フェロー、平和関連イニシアチブの最新情報。
- 紹介フォーム：フェローシップ申請に関する情報を見込み者に送付することを要請するためのフォーム。
- 修了証プログラムのポストカード：修了証プログラムとセンターに関する情報を記載。
- 修士号プログラムのポストカード：修士号プログラムとセンターに関する情報を記載。

- ロータリー平和フェローシップのプレゼンテーション資料：ロータリー平和センタープログラムの概要。
- 平和推進地区になろう：地区が平和フェローシップを支援する方法を説明したチラシ。

rotary.org/peace-fellowshipsからも情報とリソースをご覧いただけます。

ロータリー健康な地域社会チャレンジ

「ロータリー健康な地域社会チャレンジ」は、対象国のロータリー会員が、5歳未満の子どもの最大の死因であるマラリア、肺炎、下痢などによる重篤な病気や死亡を減らすための大規模で効果の高いプログラムを実施できるよう、長期的なリソースを提供するものです。このチャレンジは、特に弱い立場にある人びとに焦点を当て、持続可能な保健システムのアクセスと品質を高めます。

ロータリー財団、ワールドビジョン、ゲイツ財団が協力し、コンゴ民主共和国、モザンビーク、ナイジェリア、ザンビアの4カ国における会員主導のプログラムに合計3,000万ドルを授与します。これらの国は、疾病による負担、ロータリー会員の存在と参加状況、パートナーシップの可能性、各国保健省の戦略との整合性に基づいて選ばれました。

大きな成果と永続的な変化をもたらし、成果測定のためのしっかりとしたモニタリングと評価のシステムを用いたプログラムを立案するために、各々の参加国のロータリー会員が委員会を設置します。プログラムは、3年をかけて実施されます。

詳しい情報とリソースはmy.rotary.org/rotary-healthy-communities-challengeをご覧ください。

補助金

ロータリー財団の補助金は、クラブや地区が提唱するさまざまな奉仕活動のほか、奨学金や研修を支えています。

補助金の種類

地区補助金

地区補助金は、一括で地区に支払われ、地元や海外のニーズに取り組むために使用できる補助金です。地区は毎年、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動（職業研修チーム、奨学金、奉仕プロジェクト、青少年プログラムなど）を支えるために、使用可能なDDF（地区財団活動資金）の50パーセントまでを地区補助金として申請できます（一年に一口のみ。12ページの「年次基金（シェア）」のセクションを参照）。

グローバル補助金

グローバル補助金は、戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。大規模で国際的な奉仕プロジェクト、職業研修チーム、奨学金（修士課程または博士課程）のために活用でき、重点分野（8ページを参照）のいずれかにおいて、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。

> 「持続可能性」の定義は組織によって異なりますが、ロータリー財団では、成果が現地で維持され、地域社会の継続的な優先ニーズに応えていけることを意味します。

グローバル補助金による活動の最低予算は30,000ドルです。補助金提唱者は、地区財団活動資金（DDF）、現金、冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせてグローバル補助金に充てることができます。財団は、すべてのDDF寄贈に対し、その80%相当分のWFを上乗せします。WF上乗せの上限額は400,000ドルです（下限額はありません）。

グローバル補助金はすべて、二つのクラブまたは地区が提唱する必要があります（活動の実施国内と実施国外からそれぞれ一つずつ）。

奉仕プロジェクトまたは職業研修チームのためのグローバル補助金を計画する場合、提唱者は、徹底した地域社会調査を行って現地の歴史、文化、強み、資産、ニーズ、優先を理解する必要があります。また、プロジェクト立案の際に参照した調査結果を、グローバル補助金の申請書に含める必要があります。計画段階では、地区リソースネットワークにいる地元のロータリー会員やプログラム学友（ロータリー行動グループのメンバーや財団専門家グループメンバーを含む）から貴重なアドバイスを得ることができます。

災害救援補助金

災害救援補助金は、過去6カ月間に自然災害により被災した地域における救援および復興活動を支援します。被災地にある資格ある地区は、25,000ドルを上限として補助金を申請できます（ただし災害救援基金の残額状況によります）。地区は、以前の災害救援補助金の報告書が提出済みである場合に限り、追加の補助金を申請できます。

補助金の資金は、水や食料、医薬品、衣服といった基本的な物資の提供に使用できます。申請する地区は、被災地のニーズを特定する責任があります。これらの地区はまた、特定したニーズに補助金を充てるために、地元当局や地元団体と緊密に協力するべきです。

大規模プログラム補助金

この補助金は、重点分野において成果を挙げているロータリー奉仕プロジェクトの実績、インパクト、持続可能性に基づき、大規模で長期的なプログラムに授与されます。この補助金が支援する取り組みは、ロータリー会員が他団体とのパートナーシップを通じて、より広い地域で、より多くの人に末永い恩恵をもたらすものである必要があります。

参加資格のあるロータリークラブ、ローターアクトクラブ、または地区が提唱し、パートナー団体との強い協力の下で実施されるプログラムに対し、ロータリー財団が200万ドルの大規模プログラム補助金を毎年一口授与します。競争制プロセスの第一段階では、プログラムがいかに測定可能な結果を達成してきたか、また、どのように規模を拡大できるかについての説明をまとめたコンセプトノートを提出する必要があります。その後、ロータリー財団専門家グループのメンバーとそのほかの有識者によって最も有望とみなされたコンセプトノートを提出したクラブまたは地区は、プロジェクトの詳細を含む完全な提案書を提出することが求められます。

提案書には、詳細な予算、実施パートナーと出資パートナーからのコミットメントの書簡、プログラムに完全に組み込まれたモニタリング・評価・学習の詳細な計画を含めます。申請には、一つ以上のロータリー外部のプログラムパートナーから少なくとも合計500,000米ドルの現金寄付を含める必要があります。

重点分野

ロータリーは、平和の取り組みを支え、ポリオを根絶するために、国際的な協力関係を築き、人びとの生活を改善し、より良い世界をつくることに尽力しています。ロータリーのすべての奉仕プロジェクトはこれらの分野を中心としていますが、グローバル補助金と大規模プログラム補助金による活動はいずれも、ロータリー財団の以下の重点分野の少なくとも一つにおける特定の目標をめざすものであることが条件となります：

- 平和構築と紛争予防
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 地域社会の経済発展
- 環境

各重点分野の具体的目標は、重点分野の基本方針をご参照ください。

参加資格認定と資金管理

地区で必要な手続き

補助金活動に参加するには、地区が毎年オンラインで参加資格認定手続きを行う必要があります。この手続きでは、地区が「地区の覚書（MOU）」に記載された財務と資金管理の要件を遵守することに同意します。また、地区内クラブの参加資格を認定するプロセスの一環として、地区は補助金管理セミナーを実施する必要があります。各地区は、対面式での補助金管理セミナーの代わりに（あるいはそれを補足するものとして）、ラーニングセンターにあるオンラインのコースを利用できます。

クラブで必要な手続き

クラブがグローバル補助金および大規模プログラム補助金を利用するには、毎年、地区から参加資格認定を受ける必要があります。認定要件として、クラブ会長ならびに会長エレクトがクラブの覚書を承認する必要があり、少なくとも一人のクラブ会員が地区補助金管理セミナーを完了しなければなりません。また、クラブは地区によって定められたその他の要件も満たさなければなりません。

ロータリー財団専門家グループ（Cadre）

ロータリー財団専門家グループ（Cadre）は、重点分野または補助金の財務管理における専門スキルや知識を生かして活動するロータリー会員から成るボランティアのネットワークです。専門家グループは、ロータリー会員がプロジェクトを計画し、より優れた補助金申請書を提出し、効果的なモニタリングと評価を実施できるようサポートします。専門家グループメンバーは、ロータリー財団の補助金管理において重要な役割を果たしています。監査を行い、プログラムを審査し、財団資金の使用状況の監督を支援します。詳しくは、rotary.org/cadreをご覧ください。

補助金の申請と報告のプロセス

クラブと地区は、参加資格の認定を受けた後、補助金センター（オンライン）から補助金の申請を行うことができます。8月、9月、10月のいずれかの月に留学を開始するグローバル補助金奨学金の申請は、6月30日までに財団に提出する必要があります。また、旅行を含む申請書は、旅行日の90日前までに提出する必要があります。大規模プログラム補助金のコンセプトノートの締切日は8月1日です。

クラブと地区は、補助金資金の使用について報告する必要があります。報告書は、補助金センターを通じて提出します。

補助金関連のリソース

- rotary.org/ja/grants：ロータリー補助金に関する総合的な情報。
- 「寄付推進＆補助金」ニュースレター：ファンドレイジング（寄付推進）と補助金に関する情報を四半期ごとに紹介。
- グローバル補助金ガイド：グローバル補助金の管理に関するクラブと地区のための詳しい情報を掲載。

- 「補助金管理セミナー」学習プラン：クラブと地区がグローバル補助金を申請し、管理できるようになるための情報を説明したオンラインコースを含む。ラーニングセンターから利用可能。
- 大規模プログラム補助金ハンドブック：大規模プログラム補助金の申請に関する詳細な情報を記載。
- 地域社会調査の実施：地域社会のニーズを調べるための方法を紹介。
- ロータリー インパクト ハンドブック：測定を通じて奉仕活動のインパクトを示す方法を紹介。
- ロータリー財団専門家グループ（Cadre）

ロータリーの学友

ロータリー財団は、その長い歴史の中で、奨学金や職業交換など、さまざまなプログラムを通じて125,000人以上を支援してきました。ロータリー財団の元奨学生、およびローターアクト、インターアクト、青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の元参加者や、地域ごとに運営される奨学金プログラム（米山記念奨学金など）の元受領者は、ロータリーで「学友」と呼ばれています。

才能と熱意のある学友は、ロータリーについての知識があり、国際理解と世界平和を促進するロータリーのビジョンを共有する人びとです。世界中の地域社会に貢献したいと望んでいる学友は大勢おり、ロータリーの力強い支援者となることができます。また、地元や海外の奉仕プロジェクトにボランティアとして参加したり、ロータリーに入会または寄付したりする可能性もあります。ロータリーの行事で講演を行うこともできます（学友からの参加や協力を得たいと考えているクラブは、地区学友委員長にご連絡ください）。

関連リソース

- ロータリー最優秀学友会賞 推薦フォーム
- ロータリー学友世界奉仕賞 推薦フォーム
- よくある質問：ロータリー学友会に関する基本情報。
- 地区学友委員会の学習プラン：学友と活動するリーダーが参照できるロータリーのラーニングセンターのオンラインコース。

学友に関するそのほかの情報、学友賞の過去の受賞者、資料のダウンロードは、rotary.org/alumniをご覧いただくか、alumni@rotary.orgまでお問い合わせください。

財団の資金

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。ロータリーの慈善部門である財団は、時間、資金、知識を生かして優先活動（ポリオ根絶や平和の推進など）に取り組む会員の世界的ネットワークを支援しています。

年次基金（シェア）

年次基金（シェア）は、地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源です。

「Every Rotarian, Every Year」の寄付推進活動では、以下のことをロータリー会員にお願いしています：

- 毎年、財団の年次基金に寄付する
- 毎年、財団のプログラムや補助金に参加する

年次基金（シェア）へのご寄付は、人びとの生活をより良くするための補助金となって活用されます。

年次基金（シェア）へのご寄付は、次の二つの資金に分けられます。

- 47.5パーセントがWF（国際財団活動資金）へ
- 47.5パーセントがDDF（地区財団活動資金）へ
- 5パーセントが管理運営費へ

財団は、地区が参加できる国際的な補助金やプログラムにWFを使用します。地区は、地区財団活動資金（DDF）を利用し、地区が選択した財団の補助金やプログラムに資金を充てます。

財団では、寄付の3年後にDDFを使用できる独自の3年周期システムを採用しています。地区は、この3年間に、十分な時間をかけてプログラムの計画や参加者の選考を行うことができます。例として、2022-23年度に行われた寄付の47.5%を、2025-26年度に使用できます。

DDFの使途は、各地区の財団委員会が、クラブの意見を取り入れた上で決定します。地区は、DDFおよび恒久基金への寄付から生じた使用可能な金額の50パーセントまでを地区補助金として申請できます。地区は、DDFのいかなる額でもグローバル補助金に使用、または寄贈することができます。寄贈する場合は、ポリオプラス、平和構築プログラム、恒久基金、WF（国際財団活動資金）、災害救援基金、または他地区に寄贈できます。

各年度末に5年を超えて未使用であるDDFは、地区の裁量で、ポリオプラス基金、ロータリー平和センター、恒久基金、国際財団活動資金（WF）、災害救援基金のいずれかに充当されます。地区が2026年6月30日までに資金の充当先を財団に通知しない場合、未使用のDDFはWFに充当されます。

DDFは、ロータリー会員が各地域の重要なニーズに取り組むプロジェクトを行うために活用できます。年次基金（シェア）へのご寄付は将来に利用可能なDDFをもたらします。クラブと地区は、ロータリークラブ・セントラルで寄付目標を設定し、進捗を確認・記録すべきです。

シェア以外にも、WFまたはロータリーの重点分野のいずれかを指定して年次基金に寄付することができます。WFまたは重点分野を指定した年次基金への寄付は、クラブの年次基金寄付目標と一人当たりの平均寄付額を計算する際に含められますが、DDFは生じません。年次基金への寄付はすべて、財団認証ポイント、および「Every Rotarian, Every Year」、「財団友の会」会員、ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティの対象となります。年次基金への寄付はまた、クラブ認証の対象となります。

年次基金（シェア）へのご寄付は、財団補助金の主な資金源であるため、強く奨励されています。

災害救援基金

災害救援基金への寄付は、個人とクラブからの現金寄付、またはDDF寄贈によって行うことができます。この基金は、災害救援を目的とした一般的な基金であり、寄付を行うにあたって特定の災害を指定することはできません。災害救援基金への寄付は、財団認証ポイント、およびポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティの認証の対象となります。災害救援基金は年次基金とは別個のものであるため、寄付金はクラブの年次基金目標には含まれず、シェアの計算にも含まれません。また、「Every Rotarian, Every Year」または「財団の友」会員としての資格を得るための計算にも含まれません。

恒久基金

ロータリー財団の恒久基金は、未来のロータリー会員が持続可能なプロジェクトを計画、実行していくために必要な財源となります。恒久基金へのご寄付は投資されて資金を生み出し、財団を通じて国内外で実施されるロータリー会員の慈善活動に役立てられます。管理委員会は毎年、シェア、国際財団活動資金（WF）、ロータリー平和センター、重点分野を含む財団プログラムへの資金の支出を決定します。恒久基金への寄付は、年次基金が支えるのと同じプログラムを永続的に支えるものです。

恒久基金への寄付は，即時の寄付、遺贈や財産の計画寄付、またはその組み合わせで行うことができます。

寄付の方法

寄付の送金

ご寄付は、rotary.org/donateからクレジットカードで行えます。または、「ロータリー日本財団　寄付送金明細書（ロータリー会員／クラブ用）」をご利用ください。クラブ役員は、My　ROTARYにログインした上で、クラブまたは会員に代わってオンラインで寄付できます。

不動産や証券など現金以外でのご寄付については、RI日本事務局財団室（問い合わせ先：rijpntrf@rotary.org）までお問い合わせください。

ご寄付の際には、必ず会員ID番号をご明記ください（寄付の記録と認証のために必要となります）。

自動定期寄付

毎月、四半期ごと、または毎年自動的に寄付する簡単で安全な方法である自動定期寄付を通じて、年間を通してロータリー財団を支援することができます。my.rotary.org/rotary-directからお申込みいただくか、rijpnfs@rotary.orgまでご連絡ください。

寄付者は、My ROTARYの**マイアカウント**のメニューにある「**寄付者専用ページ**」からいつでも定期寄付の設定を変更またはキャンセルできます。

クラブ会員の寄付をまとめて送金

「Every Rotarian, Every Year」のイニシアチブは、年次基金への個人的な寄付を通じて、みんなで財団を支援しようというメッセージです。複数のクラブ会員の寄付をまとめて送る場合は、ロータリー日本財団寄付送金明細書（ロータリー会員／クラブ用）を使用できます。寄付の認証と領収証の発行は個別に行われます。公益財団法人ロータリー日本財団を通じて寄付を送金することで、日本の税制上の優遇措置を受けることができます。各寄付者の認証と領収証の発行が行われたかどうかの確認は、寄付送金明細書の記入者が行います。

寄付の提出に関する注意事項：

- 寄付者の氏名と寄付額を提出前に再度確認します。
- 寄付を確認し、その際に寄付額を含めます。寄付者の寄付内容と領収証を受け取れるかどうかを確認します。
- 寄付者の認証が適切に行われるよう、会員ID番号を記入します。
- 複数の人の寄付をまとめて送る明細書は、慈善の寄付が税金に関わる個人的な決定であり、寄付者の知識や関与がなければ決定できないことにご留意ください。
- 米国外での税制優遇措置の詳細については、32ページを参照し、国際ロータリー日本事務局までご連絡ください。
- 慈善目的のラッフル（富くじ）大会やゲームからの収益は、個々の会員ではなく、クラブからの寄付としてロータリー財団に提出するのが最善です。クラブや地区による寄付とすることで、誤って領収証を個人に発行するリスクを抑えることができます。

記念寄付／追悼寄付

ロータリー財団では、誰かを称えるため、または追悼を表するための寄付を行うことができます。rotary.org/ja/donateのページで「**ご寄付**」をクリックし、寄付先を選んだ上で、「記念寄付または追悼寄付をしたい」の部分に印を付けてください。

寄付者が認証対象となり、領収証が発行されます。記念寄付を行う相手、または追悼寄付の場合はその家族に、寄付が行われたことがEメールで通知されます（ご寄付の際にその方または家族の正確なEメールアドレスをご入力いただいた場合）。寄付者が通知文書を印刷して相手またはその家族に送ることもできます。

税制上の理由から、実際に寄付する人以外を「寄付者」として寄付を行うことはできません。寄付の名義人となる人は、寄付を行わずに領収証を受理することになり、当人およびロータリー財団を法的リスクにさらすことになります。

ほかの人を対象とする財団認証について詳しくは、「ポール・ハリス・フェロー」と「認証ポイント」の項目をご覧ください。

ご質問がありましたら、memorials@rotary.orgまでお問い合わせください。

従業員寄付へのマッチング（上乗せ）寄付

「マッチング寄付」とは、従業員が行う慈善寄付に対して、雇用主が上乗せして寄付をし、従業員による寄付の機会を支援するものです。

関心のある企業がございましたら、RI日本事務局財団室までお知らせください（rijpntrf@rotary.org）

雇用主が上乗せを行った場合、その認証対象は雇用主となり、領収証が発行されます。

Raise for Rotaryを用いたロータリー財団へのファンドレイジング

Raise for Rotaryとは、ロータリー財団のために個人やグループがオンラインで募金を行うことのできるツールで、Raise for Rotaryを通じて行われた個人からの寄付は、寄付者のロータリー寄付履歴に反映され、適用されるすべてのクレジットおよび表彰の対象となります。Raise for Rotaryは、個人の重要な節目・記念日やそのほかの特別なできごとを祝う方法として最適です。募金活動の運営者は、ソーシャルメディアやEメール、テキストメッセージでご自身の募金ページについて家族や友人、同僚、支援者に伝え、オンラインでの募金を行うことができます。Raise for Rotaryは英語のみとなり、募金目標やご寄付は米ドル（全世界）、日本円、豪ドル、ブラジル・レアル、英ポンド、カナダドル、デンマーク・クローネ、ユーロ、ノルウェー・クローネ、南アフリカ・ランド、スウェーデン・クローナ、スイス・フランで受け付けています（そのほかの通貨とサイトの言語オプションが今後追加される予定です）。

フェイスブックを用いたロータリー財団へのファンドレイジング

フェイスブックでは、ロータリーへの寄付とするための資金を募ることができます。寄付先となる非営利団体としてEnd Polio Nowのいずれかをお選びください。End Polio Nowのページから受領された資金は、ポリオ根絶活動に充てられます。

フェイスブックを通じた寄付は、その他のロータリー外部のプラットフォームと同様に、一つにまとまった寄付とみなされ、個人の寄付として記録されません。また、ロータリー日本財団の税制上の優遇措置は受けられません。ご寄付による認証と税制上の優遇措置を受けることを希望される場合は、ロータリーのウェブサイトから日本円でご寄付ください。

財団資金関連リソース

クラブ向け・地区向けのリソース

- ロータリークラブ・セントラル：会員増強、財団への寄付、奉仕プロジェクト、若いリーダーの参加、公共イメージ、クラブ優秀賞など、クラブの各種目標を設定し、達成に向けた進捗を確認・記録できるオンラインツール。
- DDFのベストプラクティスに関するパンフレット：DDFを最大限に活用するための計画と実施において地区が取るべきステップを紹介。

認識向上

- ロータリー財団の基本：ロータリー財団の基本情報を提供するオンラインのコース。
- 恒久基金を成長させるための地区の手引き：重要な資金源としての恒久基金を効果的に推進するための資料。
- 「寄付推進＆補助金」ニュースレター：ファンドレイジング（寄付推進）と補助金に関する情報を四半期ごとに紹介。

個人の寄付

- 「Every Rotarian, Every Year」パンフレット：クラブ会員への配布用。会員がロータリー財団の補助金や活動に参加し、財団を支援することの重要性を伝えるパンフレット。
- 「ロータリーの恒久基金」のページ：恒久基金と遺贈の概要情報、認証の機会、遺贈用のオンラインフォームなどを掲載したウェブページ。

- 計画寄付：アメリカ合衆国の税制上の優遇措置を含む遺言や公益信託に関する情報を掲載したウェブページ。
- 「明日を支えるご支援：ロータリーへの遺贈」パンフレット：恒久基金と25,000ドル以上の遺贈に関する詳しい情報を掲載し、複数の寄付者のメッセージを紹介。
- ロータリーへの遺贈フォーム：遺贈を含む恒久基金への寄付、「遺贈友の会」への入会などについて説明したパンフレット。

財団での認証

ロータリー財団では、補助金やプログラムの支援者に感謝の意を表するため、さまざまな機会を設けています。

My ROTARYの「寄付者履歴レポート」で、自分の寄付歴と認証歴を見ることができます。このレポートはEメール（rotarysupportcenter@rotary.org）で取り寄せも可能です。

個人の認証

ロータリーのリーダーは、個人やクラブの寄付状況をMy　ROTARYまたはロータリークラブ・セントラルから見ることができます。

「財団の友」会員

年次基金に毎年100ドル以上を寄付する方（個人）が「財団の友」会員となります。この寄付は、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、クラブのバナー認証の対象ともなります。ロータリーの名札に付ける「財団の友」会員ステッカーもご活用ください。

「クラブバナーレポート」で「財団の友」会員を調べることができます。

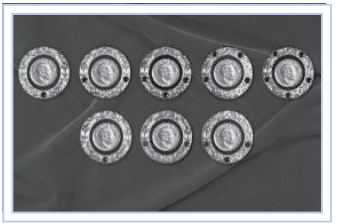
ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー（PHF）は、年次基金、ポリオプラス基金、災害救援基金、あるいは財団が承認したグローバル補助金へ、累積1,000ドル以上を寄付した個人に感謝を表すため（または認証ポイントを使ってほかの個人を称えるため）の認証です。認証は、認定状と襟ピンの贈呈をもって行われます。「クラブ認証概要レポート」で、ポール・ハリス・フェローとなっている会員を調べることができます。

感謝状

時に、企業や組織への感謝を示す目的で寄付が行われる場合があります。この場合、ポール・ハリス・フェローの認証は個人のみを対象としているため、代わりとして企業や組織には感謝状が贈られます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証は、最初の1,000ドルの後に累積した寄付1,000ドルごとに授与されます。認定は、寄付額のレベルに相当する宝石の付いた襟ピンの贈呈をもって行われます。

レベル	範囲*	襟ピン
+1	2,000～2,999ドル	サファイア1粒
+2	3,000～3,999ドル	サファイア2粒
+3	4,000～4,999ドル	サファイア3粒
+4	5,000～5,999ドル	サファイア4粒
+5	6,000～6,999ドル	サファイア5粒
+6	7,000～7,999ドル	ルビー1粒
+7	8,000～8,999ドル	ルビー2粒
+8	9,000～9,999ドル	ルビー3粒

*認証のために、現金寄付額と認証ポイントを合わせることができます。

ポール・ハリス・ソサエティ

ポール・ハリス・ソサエティは、年次基金（シェア）、年次基金（WF）、年次基金（重点分野）、ポリオプラス基金、災害救援基金、あるいは財団が承認したグローバル補助金へ、毎年度1,000ドル以上を寄付する方（個人）を認証するプログラムです。入会者には紋章型のピンと感謝状が贈られます（このピンは地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターから入手できます）。

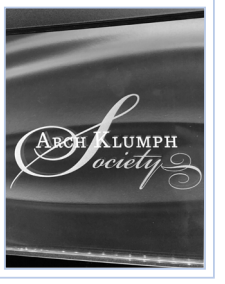
ポール・ハリス・ソサエティ会員は、ポール・ハリス・ソサエティ・レポートに記載されます。

メジャードナー

寄付の指定条件を問わず、寄付の累計が10,000ドルに達した個人または夫妻が「メジャードナー」となります。この認証は、財団認証ポイントによってではなく、寄付額に応じてのみ行われます。メジャードナーは、各レベルに応じた認証品（クリスタル）と襟ピンまたはペンダントを受け取ることができます（任意）。「メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート」で、メジャードナーとなっている会員を調べることができます。

レベル	範囲
1	10,000～24,999ドル
2	25,000～49,999ドル
3	50,000～99,999ドル
4	100,000～249,999ドル

アーチ・クランフ・ソサエティ



寄付の指定条件を問わず、寄付の累計が250,000ドルに達した個人または夫妻は、アーチ・クランフ・ソサエティ（AKS）のメンバーとなります。この認証は、財団認証ポイントによってではなく、寄付額に応じてのみ行われます。国際ロータリー世界本部17階にあるアーチ・クランフ・ギャラリーと一部の国際事務局の案内版に、AKSメンバーの肖像写真、略歴、式典の動画が紹介されます。メンバーには襟ピンとペンダントが贈られ、ソサエティメンバーの特別行事に招待されます。また、特別なソサエティ入会／レベルアップの式典が催されます。「メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート」で、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーを調べることができます。

管理委員会サークル：250,000～499,999ドル
管理委員長サークル：500,000～999,999ドル
財団サークル：1,000,000～2,499,999ドル
管理委員会プラチナサークル：2,500,000～4,999,999ドル
管理委員長プラチナサークル：5,000,000～9,999,999ドル
財団プラチナサークル：10,000,000ドル以上

ベネファクター

将来に1,000ドル以上を寄付することを誓約する旨を書面にてロータリー財団に通知するか、恒久基金に1,000ドル以上の現金寄付を行った方が、「ベネファクター」となります。認証状、およびロータリーやポール・ハリス・フェローの襟ピンとともに身につける記章が贈呈されます。「ベネファクターレポート」と「クラブ認証概要レポート」で、ベネファクターとなっている会員を調べることができます。

遺贈友の会

資産計画においてロータリー財団に対する10,000ドル以上の遺贈を誓約した個人または夫妻が「遺贈友の会」会員となります。寄付者は、各レベルに応じた特典や機会があります。

10,000ドル：
遺贈友の会襟ピンと額に入れることができるアート作品が贈られます。

25,000ドル：
Rotary's Promiseのクリスタルと冠名基金設立

50,000ドル：
冠名基金設立

100,000ドル：
カスタマイズされたRotary's Promiseのクリスタル

250,000ドル：
逝去後のアーチ・クランフ・ソサエティの認証

500,000ドル：
ロータリー国際大会での特別席や登録に関する特典

レガシー・ソサエティ

恒久基金に100万ドル以上を寄付することを書面で表明した方またはご夫妻は、レガシー・ソサエティにご入会いただけます。ロータリーの年次報告にお名前が記載されるほか、国際ロータリーとロータリー財団の特別行事に招待されます。また、特別な感謝の品に加え、遺贈友の会会員に提供されるすべての特典がレガシー・ソサエティ会員にも贈られます。

クラブの認証

ロータリー財団では、補助金やプログラムを支援するクラブに感謝の意を表するため、さまざまな機会を設けています。

クラブのバナー認証レポートでは、100%財団寄付クラブ、「EveryRotarian, Every Year」クラブ、年次基金への一人当たりの寄付額の地区上位3クラブの表彰に向けた、現ロータリー年度のクラブの寄付状況を確認できます。

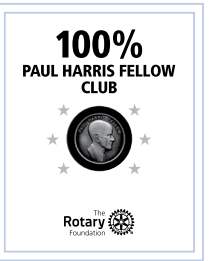
新会員（現ロータリー年度に入会または他クラブから移籍した会員）は、クラブバナー認証の要件に含まれません（100%ポール・ハリス・フェロー・クラブのバナーを除く）。ただし、クラブの一人当たりの寄付額の計算には、新会員からの寄付も含まれます。

「クラブのバナー認証レポート」（クラブと地区のリーダーがMy ROTARYまたはロータリークラブ・セントラルから閲覧可能）に記載された認証クラブは変わることがあります。これは、年間を通じて会員数が変わったり、新たな寄付が行われたりするためです。クラブが年次バナー認証の資格を満たしたかどうかを調べる際に、このレポートを参照することができます。認証バナーは、ロータリー年度の終了（6月30日）の後に手続きが行われ、10月か11月に現ガバナーに送付されます。地区のバナー認証状況レポートのご要請はrotarysupportcenter@rotary.orgまでご連絡ください。

100%ロータリー財団寄付クラブ

この認証は、1年度に、一人あたりの平均寄付額が少なくとも100米ドルに達し、会費を支払っているすべての会員が、寄付先（年次基金、ポリオプラス基金、承認されたグローバル補助金、恒久基金）を問わず25ドル以上を寄付したクラブに対して行われます。

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ



このバナー認証を受けるには、地区ガバナーが認証を申し込む時点で、会費を支払っているすべての会員がポール・ハリス・フェローになっている必要があります。1度限りの認証ですが、クラブはその後も100%ポール・ハリス・フェローの状態を維持することが期待されます。

認証の申し込み方法：

1.
会費を支払っているすべての会員がポール・ハリス・フェローであることを確認した後、クラブ代表者が地区ガバナーに連絡。

2.
地区ガバナーが「クラブ認証概要レポート」でクラブ全会員がポール・ハリス・フェローとなっていることを確認した後、ロータリー財団にEメール（rotarysupportcenter@rotary.org）で連絡。

「クラブ認証概要レポート」の上部に、クラブが100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ認証バナーを受け取ったかどうか（受け取った場合は認証日も含む）が記載されています。

「Every Rotarian, Every Year」クラブ

この認証は、1年度に、年次基金への一人あたりの平均寄付額が少なくとも100ドルに達し、会費を支払っているすべての会員が年次基金に25ドル以上を寄付したクラブに贈られます。

Rotary's Promiseクラブ

全会員が恒久基金を支援しているクラブは、「Rotary's Promiseクラブ」の表彰状（電子ファイル）とデジタル記章を要請することができます。1,000ドル以上の恒久基金への遺贈または寄付が認証対象とみなされます。認証の申し込み方法：

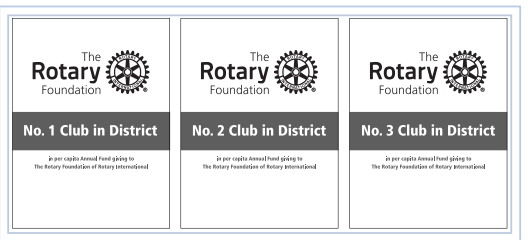
1.
会費を支払っているすべての会員がベネファクターまたはそれ以上の認証レベルであることを確認した後、クラブ代表者が地区ガバナーに連絡。

2.
地区ガバナーが「クラブ認証概要レポート」でクラブ全会員がベネファクター（またはそれ以上の認証レベル）となっていることを確認した後、ロータリー財団にEメール（planned.giving@rotary.org）で連絡。

「クラブ認証概要レポート」の上部に、クラブがRotary's Promiseクラブ認証を受けたかどうか（受けた場合は認証日も含む）が記載されています。

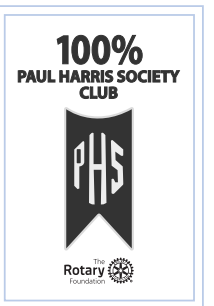
年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ

このバナーは、各地区内で、年次基金への一人当たりの寄付額が上位3位に入ったクラブに贈られます。資格を得るには、クラブの一人あたりの平均年次寄付額が最低50ドルである必要があります。



100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ

このバナーは、1年度に、会費を支払っているすべての会員が、年次基金（シェア）、年次基金（国際財団活動資金）、年次基金（重点分野）、ポリオプラス基金、災害救援基金、または承認されたグローバル補助金のいずれかに少なくとも1,000ドルを寄付したクラブに贈られます。



「End Polio Now：歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの感謝状

ロータリーのポリオプラス基金に毎年1,500ドル以上を寄付するクラブに贈られます。

ローターアクト寄付達成証

1年度にクラブとして合計100ドル以上を寄付したローターアクトクラブにデジタルの達成証が贈られます。寄付者はローターアクトクラブ会員として登録されている必要があります。合計で100ドル以上となれば、それぞれの寄付の指定先（基金）と金額は問いません。

認証ポイント

認証ポイントは、年次基金、ポリオプラス基金、災害救援基金、承認されたグローバル補助金のいずれかに寄付をした人に、1ドルにつき1ポイント与えられるものです。 ただし、恒久基金への寄付は認証ポイントの対象となりません。

寄付者は、認証ポイントを移譲して、ほかの人をポール・ハリス・フェロー、またはマルチプル・ポール・ハリス・フェローにすることができます。認証ポイントは、寄付者が亡くなるまで、あるいは寄付者がポイントを使用するまで、本人の保有ポイントとみなされます（寄付者がメジャードナーの場合は、存命している配偶者またはパートナーがポイントを使用できます）。

ポール・ハリス・ソサエティまたはメジャードナーの認証のために認証ポイントを使用できないことにご留意ください。

移譲の方法

一度に移譲できるのは100ポイント以上となります。「ポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書」にご記入の上、ご本人が必ずご署名ください。

個人からクラブ／地区へ認証ポイントを移譲できないことにご留意ください。また、寄付者は、認証ポイントを得るために、ポール・ハリス・フェローである必要はなくなりました。

認証関連リソース

- 「Every Rotarian, Every Year」パンフレット：EREYと年次基金（シェア）に関する情報
- 「財団の友」会員のステッカー：年次基金に100ドル以上を寄付した会員に贈ることのできるステッカー。クラブまたは地区の役員が注文できます。
- ポール・ハリス・ソサエティ　パンフレット：ポール・ハリス・ソサエティの認証に関する概要を記載。
- 「ご寄付がかたちになるとき」パンフレット：大口寄付に関する情報を記載。
- ロータリーへの遺贈フォーム：恒久基金、遺贈、冠名の機会に関する情報が含まれ、遺贈の意思を伝えるカード。
- アーチ・クランフ・ソサエティ　パンフレット：アーチ・クランフ・ソサエティについて紹介。
- Rotary's Promiseクラブのガイド：Rotary's Promiseクラブとなるための資格に関する情報。
- 財団認証ポイントについて：認証に関するよくある質問とその回答。
- My ROTARYとロータリークラブ・セントラルから見ることのできる認証関連レポート：
  - メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート
  - ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート
  - クラブバナーレポート
  - 地区のバナー認証状況レポート
  - クラブ認証概要レポート

一般リソース

My ROTARY

会員用のサイトであるMy ROTARYでは、ロータリーの活動や運営をサポートするさまざまなツールやリソースが提供されています。「クラブと地区の運営」からご覧ください。ログインして以下を行うことができます：

- ロータリークラブ・セントラルから、クラブの会員状況／奉仕プロジェクト／財団への寄付を確認
- 財団への寄付
- 財団の活動情報を入手
- 補助金センターを通じて補助金を申請
- ラーニングセンターで財団関連コースを利用
- 「寄付者履歴レポート」で自分の寄付履歴と認証に関する情報を確認
- 「奉仕プロジェクトセンター」でプロジェクトの成果を紹介

レポート

ロータリーのリーダーは、My　ROTARYまたはロータリークラブ・セントラルから次のレポートを閲覧できます。また、RI日本事務局に資料請求していただくことも可能です。

財団に関するレポートは、ロータリーにおける妥当な目的においてのみ使用すべきであることにご留意ください。利用者は、個人データの使用とプライバシーに関するロータリーの方針に従うことに同意したものとみなされます。レポートを利用するリーダーは、ラーニングセンターにある個人データの保護のコースを受けることが強く奨励されています。

寄付に関するレポート

ロータリーのリーダーは、以下のレポートを利用できます。

レポート	内容	種類
寄付者履歴レポート	個人の寄付に関する情報を記載（寄付、財団認証ポイントの移譲、誓約、認証を含む）。寄付と認証について確認する際に参照。	個人
クラブバナーレポート	現年度のEREYクラブと100%財団寄付クラブバナーの認証レベル到達日を記載。	クラブ、地区
クラブファンドレイジング分析	5年間の年次基金目標、寄付、認証に関する情報を記載。目標設定を行う際に参照。	クラブ、地区
クラブ認証概要レポート	寄付者のポール・ハリス・フェロー・レベル、認証額、財団認証ポイント、定期寄付への参加、「Rotary's Promiseクラブ」に向けた進捗、ベネファクター状況、前回の寄付日と寄付指定先、100%ポール・ハリス・フェロー・クラブの達成と日付、クラブの寄付、寄付ゼロクラブに関する情報を記載。	クラブ、地区
メジャードナー／アーチ C. クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート	遺贈友の会とレガシー・ソサエティのメンバー、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーのリストと認証日を記載。郵送先住所を表示。	クラブ、地区
月次寄付レポート	特定年度と月におけるクラブの年次基金、恒久基金、ポリオプラス、そのほかの基金への寄付情報を記載（年度開始時からの現在までの寄付情報を含む）。	クラブ、地区
ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート	ベネファクター、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、感謝状を受けた人、その認証日および郵送先住所を表示。	クラブ、地区
ポール・ハリス・ソサエティ・レポート	ポール・ハリス・ソサエティの会員と資格に関する過去4年間の情報を記載。寄付者の連絡先のタブを含む。	クラブ、地区
ポリオプラスレポート	特定年度と月におけるクラブのポリオプラス基金への寄付情報を記載（年度開始時からの現在までの寄付情報と前年度の寄付情報を含む）。	クラブ、地区

レポート	内容	種類
シェア指定寄付レポート	各クラブの年次基金（シェア）の寄付状況と、特定年度のDDF情報を記載。	クラブ、地区
地区で利用可能なDDFレポート	DDFの状況（移譲、補助金、返納額、未使用額）と最近の業務日の時点で利用可能な推定残高を表示。	地区
現クラブ役員寄付レポート	現年度または前年度におけるロータリー財団への寄付の有無を示した、地区内の現クラブ役員のリスト。	地区
地区のバナー認証状況レポート	1年度のクラブバナーの認証（年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ、100%財団寄付クラブ、EREYクラブ）に向けた進捗を記載。	地区
地区ファンドレイジング分析レポート	5年間の年次基金と恒久基金への地区からの寄付状況、寄付総額を記載。ポール・ハリス・ソサエティの有資格者、メジャードナー、大口寄付、ベネファクター、遺贈友の会会員の累積数を表示。認証ポイントおよび冠名基金とその市場価値の合計を表示。	地区
基金状況レポート	恒久基金-シェアの使用可能な収益によるDDFを表示。	地区
次期クラブ役員寄付レポート	現年度または前年度におけるロータリー財団への寄付の有無を示した、地区内の次年度クラブ役員のリスト。	地区
プログラム参加者と学友（地区別）	地区の現・元プログラム参加者のリスト。	地区
追跡番号のある寄付レポート	冠名指定寄付と冠名基金から地区がグローバル補助金に使用できる金額を表示。	地区

補助金と専門家グループに関するレポート

会員であればどなたでも以下のレポートを閲覧できます。

レポート	内容
補助金の詳細レポート	特定の補助金に関する詳細を表示。
補助金の場所に関するレポート	選択された国で実施されているすべてのグローバル補助金を表示。
補助金への参加レポート	グローバル補助金および地区補助金へのクラブ、地区、ゾーン別の参加情報を表示。
補助金の状況レポート	選択されたクラブ、地区、ゾーンによるグローバル補助金および地区補助金の状況を表示。
提唱者別の補助金レポート	選択されたクラブまたは地区による補助金とその状況を記載（完了および取り消された補助金を除く）。
専門家グループ（Cadre）メンバー情報レポート	ロータリー財団専門家グループ（Cadre）のメンバーに関する情報。

お問い合わせ

寄付、認証ポイント、補助金申請の締切日など、財団に関するお問い合わせは、RI日本事務局財団室（問い合わせ先：rijpntrf@rotary.org）までご連絡ください。

地区とゾーンのためのリソース

地区ロータリー財団委員長は、地区における財団活動と募金の推進を担当します。地区財団委員長はさらに、地区補助金に関する主な連絡窓口となり、クラブの財団委員会を援助します。地区財団委員長はさらに、地区および地区内クラブが提唱するグローバル補助金の申請書の確認と承認を行います。また、DDFの承認において地区ガバナーを援助し、地区でのロータリー財団賞の受賞者の推薦や、地区の財団目標を定める前に地区内会員の意見を集めます。

ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）は、地域内のファンドレイジングなど、財団活動全般の推進を行っています。また、ファンドレイジング目標やプログラム目標を設定してこれらを達成できるよう、地域チーム（RRFC補佐）や地区のリーダーを研修します。

恒久基金／大口寄付アドバイザー（EMGA）は、地域や地区のリーダーと密に協力し、大口寄付見込み者の特定と開拓、懇請のための個別計画を作成します。また、財団支援者を招いた行事や、寄付見込者探しを支援します。

My ROTARYから現任のRRFC、ポリオ根絶コーディネーター（EPNC）、恒久基金／大口寄付アドバイザー、そのほかの地域リーダーのリストをご覧いただけます。

ロータリー事務局

国際ロータリー日本事務局
〒108-0073
東京都港区三田1丁目4-28
03-5439-5805
rijpntrf@rotary.org

The Rotary Foundation

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
Rotary.org

219-JA—(625)